

ケース 75 才 女性

生活歴：

茨木市にて三人姉妹の末子として出生。元来穏やかで几帳面な性格であった。短大卒業後、地元の茨木市で保育士として働いた。26才で結婚し、しばらくは共働きしていたが、出産後仕事は辞めた。夫は教師で、一男一女を設け子供に手がかからなくなってからは自らの希望で保育園に非常勤として再び働くようになった。

子供たちが独立後は、夫と二人暮らしをしていた。子供は二人とも茨木市内で家庭を持っており、孫や自分の教え子も時々家に遊びに来ていて、にぎやかに暮らしていた。町内会にも積極的に参加して役員をしたこともあった。

既往歴：

60才の頃に、高血圧と糖尿病を指摘され近くのかかりつけ医で内服治療が開始された。

65才の時に夫を突然病気で亡くし一人暮らしとなり、不眠、食欲不振で精神科クリニックに通院し内服治療をしたことがあった。その時は長女が心配して毎日見に来てくれていた。睡眠導入剤はその時から飲んでおり、今はかかりつけ医から処方されている。その後、何回か抑うつ的になることがあり精神科クリニックに紹介され短期間通院したこともあった。

73才の時に胃痛あり、胃炎の診断で胃薬を開始した。

現病歴：

74才の頃から薬の飲み忘れが多くなり、また毎月一回の定期通院も、その頃から不規則になったとクリニックから長女に連絡があった。毎月楽しみに通っていた趣味の梅田での絵画教室も行かなくなり、外出もあまりしなくなった。あちこちスーパーに行くのも楽しみにしていたが最近近くのスーパーにしか行かなくなり、財布には小銭が貯まるようになった。食事量も減ったため心配した長女が食事の準備に来るようになった。身の回りのことは自分で出来ているが、新聞やテレビも見なくなり、日にちもあやふやな様子でぼんやりし、家も片づけなくなり、ものわずれも増えた。

1ヶ月前から、夕方になるとソワソワ落ち着かなくなり、夜中に教え子が訪ねて来たと言うこともあった。また最近家の中で転ぶことも増えた。このような状態を心配した長女がかかりつけ医に相談したところ、長谷川式認知機能テストで30点満点で17点であり、もの忘れ外来に紹介され受診することになった。

内服薬：

ガスター(胃薬)

デパス(睡眠導入剤)

アムロジピン(降圧剤)

ジャヌビア(糖尿病薬)

どのような**見立て**ができますか？

どのような**情報**がもっと必要ですか？

ケースから、**生活障害**と思われるものを抜き出してください。

評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください。

ケースから、**認知機能障害・精神症状**と思われるものを抜き出して下さい。

評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください。

ケースから、**改善可能なもの**を検討してください。

評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください。

ケースから、考えられる**原因疾患**を検討してください。

評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください。